

月

Gessin
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信

4月号 No.11

APRIL
2024

ロータリーの偉人⑪



Courtesy of Rotary International.



Courtesy of Rotary International.

Percy Hodgson Joaquin Serratos Cibils

1949-50年度国際ロータリー会長
パーシー C. ホジソン

1953-54年度国際ロータリー会長
ホアキン・セラトサ・シビルス

毎年1月にRI新会長が国際協議会でテーマを発表します。このテーマを作成するという伝統はパーシー C. ホジソンが1951年のアトランティックシティ国際大会（米国ニュージャージー州）で始めたものです。

次期リーダーに向けて、「ロータリーの知識を広めるという光栄な機会」を与えられている、「ロータリーの知識の欠如はロータリークラブの順調な運営の妨げとなりうる」と訴え、基本的知識を持ってほしいという期待を表し、その思いを尊重し今も続いています。ホジソンのテーマは4つの目標を含め英文で83語と現在のテーマと比べて長文でしたが、現在のスローガン形式で初めて公に発表されたのは1953-54年度ホアキン・セラトサ・シビルス会長の「Rotary Is Hope in Action」（正式な邦訳なし）というものでした。初期のテーマには「内部に火を燃やせ」、「善意は先ずあなたから」「参加し敢行しよう！」（東ヶ崎潔 RI会長）などがあります。

〈2023-2024年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう

国際ロータリー第2700地区ガバナー

吉田 知弘（福岡東RC）



2023-2024年度国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう



環境月間によせて

国際ロータリー 第2700地区

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

4月は「環境月間」？ 「母子の健康月間」ではないの？

4月は、ロータリーの7つの重点分野の一つに因み「環境月間」として指定されています。

しかし、つい最近、正確には2年前までは違っていました。試しに「ロータリーの友」2022年4月号を手にとってみてください（友誌ウェブサイトアクセスすれば電子ブックでも閲覧できます。ID・PWはクラブ事務局まで）。この特集は「母子の健康月間」で組まれています。月間の指定が変わったのです。

この変更は、2020年にロータリー財団の重点分野に「環境」が加えられた（重点分野が6つから7つに増えた）ことを受け、2022年10月RI理事会において特別月間の配置が変更されたことによります。これにより、2023年以降4月は「環境月間」となり、今回は2度目の「環境月間」ということとなります。また、「母子の健康月間」は7月に移されました。細かいことですが、まだ年間予定表に反映できていないクラブもあるようです。今一度注意して確認してみてください。

また、ロータリーの7つの重点分野のことは「重点分野の基本方針」、月間テーマの詳細は、各当月の最初にメール配信されるテーマのリソース集でご確認いただきたいと思います。また、フォーマルな情報の詳細は、本誌掲載のロータリー財団委員会の記事にて整理されているはずですので、こちらをご確認いただければと思います。

「環境」問題へのアプローチ

環境を取組課題の問題として捉えるとき、たいへん不思議な課題であると思えてきます。その姿かたちの外縁が曖昧で、例えば、地域社会の経済発展（貧困対策）、識字率の向上、紛争予防などのテーマ程には明確な形がないからです。

極論すれば単なる清掃活動でさえ「環境美化」として「環境」に関わる問題に含まれそうですが、これは私たちが想起する環境問題とはずいぶん距離があるはずで、しかし、同じ清掃でも、海洋汚染防止、マイクロプラスチックの発生防止などの切り口を加えて海岸清掃を行うと、これは「環境」に関わる活動として違和感がなくなります。

環境問題が自覚的に取り上げられる際には、例えば気候変動対策（温室効果ガス排出削減）、生態系の保全（天然林保護、水産資源保護）、持続可能な農林水産業の実践など、地球規模での取組が欠かせないダイナミックな課題として想起されるはずで、

このように考えると、環境へのアプローチには次のような特徴があることを指摘できます。思いつくままに並べてみます。

- (1) 環境問題は、他の重点分野のテーマほどには貧困問題との結びつきが強くありません。その反面、大規模な気象災害、地球規模での生活環境の激変などの形を取り、世代を変えて数百年、数千年の単位で深刻な悪影響をもたらす問題とし

て我々の前に出現します。産業革命以来の化石エネルギーの浪費、産業のグローバルな相互依存がもたらす結末としての性格を強く帯びており、先進国に暮らす私たちも無関係ではられない課題です。

(2) 環境問題に対して効果的な対策を講じていくには、むしろ先進国の日常生活や産業のスタイルにこそ見直しを迫る部分が少なくありません。これは、しばしば指摘される「自己言及性」の問題でもあります。膨大な化石エネルギーの消費がけしからんというのであれば、私たちの生活スタイルや価値観そのものを変えていく必要があります。自分の言葉がブーメランのように自分に跳ね返ってきます。先進国における取組にこそ意義があると言い換えることもできます。

(3) 取組の規模感には様々なレベルが考えられます。食品ロスの削減やエネルギーの無駄遣いを減らすことなどは心懸けひとつで誰にでもできることで、こうした小さな取り組みを重ねることはとても大切です。その一方で、より効率的により大きな効果を得ようとすれば、産業構造レベルでの対策や技術革新が求められることになり、政府や大企業などの「大きなプレイヤー」を中心に国際的な協調によって対策が講じられなくてはなりません。それぞれがそれぞれのレベルでできることを 確実に行っていくことが大切になります。

(4) 環境問題は、これが放置され又は対策が不足すると、やがて不可逆的な破滅に至ると説明されます。永続的な取組が欠かせず、その強化によってこの「破滅」を回避することがねらいとなるため、取組の方法論においても、取組がもたらす効果の面でも、それが安定的で持続可能なものかどうかが 不断に問われます。

(5) 逆説的ではありますが、行き過ぎた利己心や安易な利便性への欲求を抑制し、極端な格差や貧困をなくし、安定した社会を構築して、紛争とは無縁の社会に近づけることができれば、これは結果的に環境問題の解決にも役立つこととなります。人間の営為は全て環境問題と切り離すことができないということもできるでしょう。その意味で、この「環境」も他の6つの重点分野のテーマと深く結びついているといえます。

むすびに代えて

思うままに書き進んできても、なかなか結びに至りつきません。環境の問題がいかにか捉えどころがない問題なのかを映し出しているようにも思ってきました。我々の生活の全てが環境に依存し、環境もまた、我々の産業社会や生活スタイルの行き着く結末であること、その自覚を皆様と共有できればひとまずは事足りることでしょう。環境問題は、捉えどころがない分だけ様々な方向性や規模感からアプローチすることが可能です。「環境」をテーマとしてどのような奉仕活動ができるか、皆様のクラブでも考えてみてください。

国際ロータリーの動向について (3-Year Targets)

国際ロータリー 第2700地区

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

環境月間のテーマに続き、本稿では、目下、特に関心を集める国際ロータリーの動向について触れます。こちらの方がガバナーがコメントするのによりふさわしいテーマかもしれません。

1 2023年10月RI理事会について

ご案内のとおり、2023年10月開催RI理事会の略報が「ロータリーの友」に掲載されました(2024年1月号・横組45ページ)。ここには、①「2025-26年度以降、新しい会長イニシアチブの開始を廃止すること」、「2025-26年度から、会長の年次テーマとロゴの作成を廃止すること」などに「同意した」との記載があり、更に関連する事項として、②「2024-25年度からクラブ、地区、ゾーン(地域)レベルの3年間の段階的なターゲットと、3年間の段階的な地域計画を設定するプロセスを承認」したことなどが指摘されています。このうち「会長の年次テーマとロゴの作成を廃止する」という点は、どうしても強く目を奪われてしまうところで、会員諸氏にも特に関心が高いところでしょう。

友誌による整理でもあり、大要はそのとおり理解してよいと思われませんが、一方でこの記事の伝え方がやや行き過ぎてみえるとの指摘もありました。まだまだ動向が定まりきらず、情報も錯綜する中でどこまで確実なことがいえるか甚だ心許なく思いますが、ここである程度確度の高い情報を整理し、今後のクラブ運営の参考に供したいと思えます。

2 年次テーマ・中長期目標等

(1) 正規の理事会議事録を参照すると、「2025-26年度から会長の新しいイニシアチブを廃止することに同意する」との決定がされたことは確認できますが、「年次テーマやロゴの廃止」に言及するところは見当たりません。現時点で最も確度が高い理

解としては、「RI会長が、そのイニシアチブとして個人的関心により年次テーマまで策定する」ことを「廃止する」というところに力点があり、ロータリーの年次テーマまで廃止するということではないようです。廃止されるのは飽くまで「年度ごとの会長イニシアチブ」であり、これに付随して「会長(個人)の年次テーマ」も廃止されるものの、ロータリーとしての年次テーマまで廃止されるわけではないと言い換えることもできます。

確かに、友誌1月号の略報を素直に読めば、「年次テーマそのものがなくなる」と受け取られても無理ないことです。今後フォーマルな形でアナウンスされるのではないかと考えられますが、今の時点では「ロータリーとしての年次テーマの廃止ではない」と理解しておかれるとよいと思えます。

なお、ロゴに関しては、まだどのように動くかははっきりと分かりません。個人的には、年次テーマがある以上はロゴも存続されることを期待します。

(2) 今後のクラブ運営との関係では、②「3年間の段階的なターゲットと3年間の段階的な地域計画」を設定するとされたことの方がよほど重要です(議事録では「3年間のローリング目標および3年間のローリング地域計画の設定(3-Year Targets & 3-year Rolling Regional Plans for Zones)」と称されています。)。この初年度は2024-25年度からスタートすることになっており、既に佳境を迎えている野崎DG年度の準備にも直結する問題ですので、特に注意が必要です。

実は、会長イニシアチブの廃止も、この中長期目標の継続性や一貫性を重視することの裏返しといえます。更に言えば、これまでの運営は年度ごとに自己完結する傾向が強く(単年度主義)、複数年度の一貫性を欠いて活動の効果が散漫になりがちであったことから、その弱点を自覚し、複数年度を貫く中長期目標の設定によって活動をより効果的

なものにしようという試みであると理解できます。年度ごとの個性やカラーが正面に出ることを抑制する結果、各年度のフォーカスポイントは、中長期目標との関係からその時々状況に応じて「自ずと定まる」ということになるでしょう。

- (3) 恐らくではありますが、関心を集める「年次テーマ」もこのような中長期目標との関わりの中で、会長をはじめ、RI理事会や委員会等が協議して定めることとなるのでしょう。このように「中長期目標＝複数年度の一貫性(Continuity)」が正面に出てくる構図であることは間違いなく、近い将来に向けての重要な注目点となることを理解しておくべきでしょう。

3 ジャパンロータリー ポータルサイトについて

以上のとおり、この「3年間のローリング目標」が非常に大事なポイントになるため、現在、日本のロータリー(Rotary Zone 1A,2,3)としてポータルサイトが立ち上げられており、ここにこの「3年間の目標」について詳細な説明がされています(<https://www.japanrotary.club/>)。

現在のロータリーは非常に大きく動いております。ご意見には様々に差があっても、まずは最新の情報を的確にキャッチアップすることが欠かせません。是非、このポータルサイトにアクセスして、内容をご確認いただきたいと思います。

本稿のリソース(環境月間、3-Year Targets)

- 1 ロータリーウェブサイト「環境の保護」
<https://www.rotary.org/ja/our-causes/protecting-environment>
- 2 重点分野の基本方針
<https://my-cms.rotary.org/ja/document/areas-focus-policy-statements>
- 3 グローバル補助金授与のガイドライン
<https://my.rotary.org/ja/take-action/apply-grants/global-grants>
※ここには、他の重点分野と合わせて「環境」に関する補助金授与のガイドラインが整理されています。
- 4 ロータリーの友(電子ブックへのアクセス)
<https://www.rotary-no-tomo.jp>
※本稿では、2022年4月号、2024年1月号を取り上げています。
※IDとPWは、各自のクラブ事務局にお尋ねください。
- 5 ジャパンロータリーポータルサイト
<https://www.japanrotary.club>
※大手検索サイトでもヒットしないようです。このリンクからジャンプしてください。

PDFでは各項目をクリックすると資料を閲覧またはダウンロードできます。
項目によっては事前にマイロータリーへのログインが必要になります。

一般的な参考資料

マイロータリー
2023-24年度テーマロゴ
2023-24年度RIテーマ講演
2023-24年度会長イニシアチブ(概要)
ロータリー賞
組織規定・ロータリー章典・R財団章典
決議審議会・規定審議会
ロータリーについて
ロータリーの優先活動
ロータリーの組織構成
ロータリーのリーダー
パートナー
ロータリーの歴史
年次報告 / 財務情報
ロータリーのラーニングセンター

ロータリーの行動計画

行動計画のリソース
「クラブを通じてできること」のチラシ
戦略計画立案ガイド
戦略的優先事項の白書 1・2・3・4

多様性、公平さ、インクルージョン

多様性、公平さ、インクルージョンに関するリソース
ロータリーのDEI行動規範
DEIに関する用語とその説明
「多様な会員が集まるクラブに」の調査
マイクロアグレッションへの対応方法(演習)
マイクロアグレッション:謝る時のポイント

ロータリー財団

ロータリー財団について / 歴史
重点分野
重点分野のパンフレット
ロータリー財団参照ガイド
グローバル補助金ガイド
グローバル補助金のモニタリングと評価の計画に関する補足資料
ご寄付
ご寄付の方法
計画寄付
寄付者の認証

持続可能性のための6つのステップ

ロータリーカード(オリコ)
ロータリーカード(ダイナース)
寄付&補助金ニュースレター
ポール・ハリス・ソサエティ
ロータリー平和フェロウシップ:ロータリアンの役割
ロータリー補助金
恒久基金

ポリオプラス

ポリオ根絶(End Polio Now)支援サイト

会員増強

会員増強

クラブの現状を評価し、適応する

クラブ計画アシスタンス
クラブの健康チェック
会員増強のための評価ツール(下記一括)

- ・地元の職業を反映したクラブに(職業分類調査)
- ・多様な会員が集まるクラブに(会員多様性調査)
- ・入会候補者を見つける(会員候補者情報の収集)
- ・会員維持力を高める(会員維持調査・分析)
- ・会員の満足度を高める(会員満足度アンケート)
- ・退会の理由を理解する(退会者アンケート)

現会員の参加を促す

奉仕と友情の輪を広げよう
スキルとネットワーク

入会候補者をつなげる

入会候補者向けのチラシ
「ロータリーとは?」名刺サイズのカード
入会候補者向けイベントの開催
「若い世代の職業人とともに」デジタルキット
カスタマイズ可能なクラブパンフレット
入会候補者を見つける
入会候補者への対応マニュアル
法人会員導入ガイド
入会候補者情報プログラムでクラブの会員増強を図る
入会候補者情報プログラムで地区の会員増強を図る
ロータリーの成長を導くイベントを計画しよう

新会員が溶け込みやすい環境をつくる

ロータリーへようこそ(ビデオ)
新会員オリエンテーション
ロータリーの基本情報

活気あるクラブをつくる

会員増強ガイド:地域に合った計画を立てよう
元気なクラブづくりのために
クラブ運営の柔軟性
クラブ会員増強委員会のためのチェックリスト
地区会員増強委員長 研修セミナー

新クラブを結成する

新クラブをつくろう
ロータリークラブ結成ガイド
クラブのモデル
衛星クラブのガイド
パスポートクラブのガイド
新クラブを育成する

ロータリーの奉仕・参加促進

地域調査の方法
「地区委員会」のページ
奉仕・参加促進に関する動画
プロジェクト向上プロセスに関するよくある質問
プロジェクトフェア
プロジェクトの流れに関するリソース
・My ROTARYのフォーラム
ーグループへの参加手順
・ロータリーショーケース
ーロータリーショーケースガイド
ロータリー行動グループ
ロータリー地域社会共同隊(RCC)
ロータリー重点分野ガイド
ロータリー奉仕のニュースレター
職業奉仕の手引き:実践しよう
ロータリー親睦活動グループ
ロータリー友情交換

若いリーダーのためのリソース

インターアクト
インターアクト提唱 ロータリークラブとアドバイザー向けのガイド
ローターアクト
ローターアクトハンドブック
標準ローターアクトクラブ定款
青少年交換
青少年交換ハンドブック
ロータリー青少年保護の手引き

ロータリーの公共イメージ

ロータリーボイス(ロータリーの公式ブログ)
ブランドリソースセンター
ロータリーのブランドについて
「世界を変える行動人」のメッセージ
広報
メッセージ作成ガイド
メディアセンター(ロータリーの概要資料など)

学友

ロータリーの学友

役割別・運営

新会員
クラブの役割
研修リーダー
地区の役割
クラブと地区の運営
ニュースレター(登録)
各種レポート
ロータリークラブセントラル

各種賞・表彰

各種賞・表彰

ロータリー国際大会

ロータリー国際大会

関連団体

ロータリーの友
四つのテスト(由来)
ロータリアンの行動規範
決議23-34(英語・日本語)
ポール・ハリスとロータリー(アニメーション)
ロータリー文庫
(公財)ロータリー米山記念奨学会
(公財)米山梅吉記念館
(一社)国際ロータリー青少年交換多地区合同機構
情報研究会
RLI日本支部
GPEI / 世界ポリオ根絶推進計画

ウクライナ支援

ウクライナ危機へのロータリーの対応・支援方法

環境月間

ロータリー財団委員会
委員長 **中村 光** (宗像 RC)

4月の月間に設定されている「環境」は2021年7月より7番目の重点分野に追加され、2022年RI理事会10月に強調月間に決定されました。天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援するとされています。クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー理事会が指定した特別月間であります。

地域社会の経済発展や水と衛生プロジェクトへの支援を通じて、過去5年間に環境関連の活動に充てられたロータリー財団グローバル補助金は1840万ドルであります。

地球を守るロータリーの取り組みとしてロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協力者たちによる以下のようなプロジェクトにロータリー財団補助金を使うことができます。

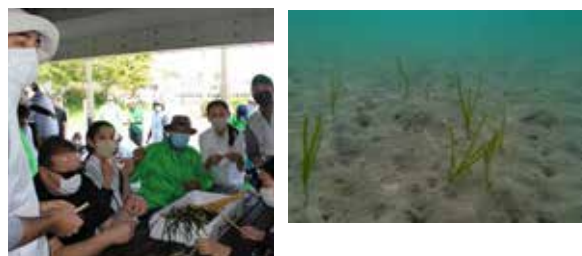
- 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
- 天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上
- 持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
- 温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み
- 気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
- 環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援
- より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱
- 環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み

第2700地区でも近年、環境分野でのロータリー財団地区補助金で行われた「環境分野」でのプロジェクトが多く企画実行されています。一部ですが紹介をさせていただきます。

○環境事業・環境教育(糸島RC事業)



○豊かな海づくりプロジェクト(宗像RC事業)



○河川清掃・ゴミ組成環境調査(福岡東RC事業)



○豊前海岸一斉清掃(第1Gロータリー奉仕デー事業)



そのほか宗像国際環境会議へ地区からの参加や今年度ロータリー財団奨学生で環境分野を研究する学生にも支援もしています。

▶ロータリーショーケース

ロータリーショーケースでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。(下記リンクより環境分野を選択してご覧ください)

https://map.rotary.org/ja/project/pages/project_showcase.aspx

第2グループ

第2グループガバナー補佐

中島 伸一郎 (小倉南 RC)



第1部 パネルディスカッション



開会の挨拶



武内和久北九州市長



第2部 パネルディスカッション



懇親会



手に手つないで

1月20日に第2グループのインターシティミーティングが終わり、落ち着いて他グループのIMを拝見させていただいております。第2グループ11クラブのそれぞれの個性を改めて見る事ができたIMであったと思っております。各クラブとも今まで行ってきた奉仕事業の独自の進化に気づいてなく、また似たような事業をしていても他のクラブがどのような事業をしているのかわからないことの多さに驚かされました。もっとロータリーが進化するためには他のクラブの事を知っておく必要があると感じた次第です。

そこで、インターシティミーティングにおいて各クラブに奉仕事業の成果を発表してもらうことを考え、次年度の会長現副会長にパネラーになっていただくことを考えました。一言で自クラブの良さ、奉仕事業の内容を語っていただく内容は分かりやすく、第2グループ内の横の連携をより強くするものになったと確信いたしました。

当日、市長の出席時間等について不安はあったものの私を除くスタッフは落ち着いて、自分たちの仕事を確実にこなしているように受け取れました。事前のシナリオシュミレーションがうまくリハーサルを重ねたおかげだと思えます。

市長の熱弁が会場の熱気を盛り上げ時間が押しましたが、司会者が臨機応変に時間内にまとめてくれてほっとしました。また、門司、小倉、戸畑、八幡、若松五区のそれぞれの代表をということで、分区の問題で所属の違う第三グループから八幡区代表の八幡ロータリークラブ会長に出席していただきました。また次のパネルディスカッションも司会者が急病で代役での進行となりましたが、これも代役の方がタレント性の高い能力で乗り切りました。本当に小倉南RCはタレントがそろっています。出席していただいたパネラーの皆様本当にありがとうございました。そして運営実行をいただいた小倉南RCスタッフの皆さんご苦労様でした。

※当日の様様はこちらのURLからご覧いただけます → <https://www.youtube.com/watch?v=PaCvBjoHrOs>

第6グループ

第6グループガバナー補佐

金谷 永圭 (久留米東 RC)



開会の挨拶 第6グループガバナー補佐/金谷 永圭



特別講演 久留米大学 学長 内村直尚氏



第6グループロータリアンによるパネルディスカッション



会場風景

第6グループのIMは2月3日(土)、ホテルニューブラザ久留米で、久留米東ロータリークラブがホストで開催しました。

ご来賓として、久留米市長、原口新五様、国際ロータリー第2700地区吉田知弘ガバナーをはじめ役員の皆様方、第6グループの多くのロータリアンに御参加を頂き、改めて感謝申し上げます。

IMのテーマは「希望の扉を開こう」です。紛争や分断が進む時代、希望を捨てずに、希望を求め続ける事が重要であると一人のロータリアンとして思っております。

第一部では、久留米大学の内村直尚学長に「睡眠を制する者が人生を制する」というテーマで、睡眠がいかに健康や長寿に重要であるか、医学的な高い見識から講演をして頂きました。

第二部は「10年後、魅力あるクラブになるためには」というテーマで井手 and 英パストガバナーの講演の後、

第6グループ、8クラブの精鋭のパネラーに御参加を頂き、パネルディスカッションを開催しました。各パネラーの皆様方の意気込みや情熱を感じさせる、大変活発なパネルディスカッションだったと思います。

閉会セレモニーでは、梅原英二ガバナー補佐エレクトより次回のご案内があり、続けて吉田知弘ガバナーの格調高い総評を頂き、改めて感謝申し上げます。

第三部はIMのもう一つの目的である参加者の親睦を図る懇親会でした。300名ほどの参加者で大変楽しい時間を共有する事が出来ました。地元の有名バンド「ハッチャリーズ」の素晴らしい演奏が懇親会に花を添えて頂きました。

最後は参加者全員による「手に手つないで」でした。快い音楽が館内に響き渡り、手をつないだ壮大な風景が感動的でした。

多くの皆様方に御協力と御参加を頂き、改めて心から感謝申し上げます。

吉田年度 第4回 ガバナー諮問委員会 議事録

日時／2024年 2月7日（水） 15時00分～16時45分

場所／福岡朝日ビル地下 11号会議室

【出席者】 廣畑PG、原田PG、波多野PG、小山田PG、井手PG、穴井PG、本田PG、安増PG、岡野PG、
灘谷PG、貫PG、西島PG、吉田G、野崎GE、濱野GN、大神地区幹事、大橋次年度地区幹事、
松本次年度地区会計長、土井ガバナー事務所長 [以上18名]（敬称略）

【欠席者】 大島PG、立花PG、古賀PG [以上3名]

議事進行 大神地区幹事

1. 吉田ガバナーご挨拶

吉田ガバナー

皆様、たいへんお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。2023-24年度も第3クォーターを迎えました。これより各グループのインターシティミーティングやクラブの周年行事が連なる時期に入り、4月中旬の地区大会、国際大会のフィナーレに向かって一気呵成に進んでまいります。引き続き諸先輩方の御指導と御支援を賜りたく、宜しく願いいたします。

さて、この諮問委員会のメインは、申し上げるまでもなく野崎千尋ガバナーエレクトによる国際協議会報告及びこれを受けましたの地区方針の発表であります。どのようなお話しを伺えるか、皆様とともに興味深く拝聴したいと思います。本日の委員会が充実した協議の場となることを期待しております。

2. 2024-25年度 第2700地区予算(案)

松本次年度地区会計長

2024-2025年度地区予算案についてガバナー事務所と各委員会と協議の上、作成し地区財務委員会へ報告したことと予算案内容の詳細について次の通り報告がなされた。

(資料と予算書案による要点説明)

1. 基本方針

- (1) 野崎ガバナーエレクトの基本方針に基づき予算案を作成しております。
- (2) 前年度繰越金から①地区事業対応資金特別会計及び②地区危機管理対応資金特別会計にそれぞれ5,000,000円を移管し、クラブと地区の持続的発展のための事業に取組みます。
- (3) 収入に関しましては、2023年11月末現在の会員数(3,164名)から30名以上の増強目標として3,200名で予算案を作成しております。
- (4) 各委員会予算は、2023年11月15日付で次期各委員会に予算要望書の提出依頼を行い、2023年12月26日～27日の予算編成会議(WEB開催)を経て、各事業計画と規程に沿った効率的な委員会活動を目指す予算案として、ガバナーエレクトの要望に沿い計上作成いたしました。

2. 一般会計

(1) 収入の部

① 地区資金

基礎となる会員数を、3,200名として予算を立案しています。

② 2024年度3月に、RI理事会より補助金額が決

定されることから、現時点では不明なため前年度よりやや多めの1,400,000円で計上しております。

- ③ 月信購読料は電子化を継続し、会員から徴収する金額を1回あたり100円の13回、会員一人当たり年間1,300円を維持しております。
- ④ 地区大会余剰金は一般会計へ繰り入れを見込み、前年並みの2,000,000円を計上しております。

(2) 支出の部

① ガバナー関係費

イ. GN関係費

- ・前年と同額を計上しています。

ロ. GE関係費

- ・GE関係費はGETS 登録料が増加しているため、40,000円増額になりました。
- ・GE国際協議会出張費は前年度と同額を計上しました。

ハ. ガバナー関連費

- ・ガバナーに関連する経費は前年度と同額を計上しました。

二. 渉外費

- ・他地区の地区大会登録料 @30,000円×7地区で計上しました。

ホ. 規定審議会旅行準備金

- ・2025年開催予定の規定審議会の為、旅費として200,000円を積立金に計上しています。

ヘ. 予備費

- ・予備費として100,000円を計上しています。

② その他経費

イ. 日本R連絡協議会運営費

- ・500円×3,200人で計上しています。

ロ. 地区役員旅費

- ・他地区の地区大会旅費等@80,000円×7地区で計上しています。

ハ. 月信費

- ・電子書籍化に伴い、作成料1回あたり28万+消費税の13回となり、今年度同額の4,004,000円で計上しています。

二. 通信費・その他

- ・電子書籍化により郵送料が減少するので350,000円から200,000円に減額して計上しています。

ホ. WEB管理費

- ・ホームページ改修に伴うランニングコストの増加で300,000円を計上しています。

ヘ. 予備費

- ・ホームページの改修を予定しているので1,000,000円を計上しています。

③ ガバナー事務所運営費

イ. 人件費

- ・事務所長及び職員2名分の7,930,000円を計上しています。

ロ. 退職準備繰入

- ・職員2名の退職金繰り入れを240,000円計上しています。

ハ. 旅費交通費

- ・事務所長及び職員2名の通勤交通費で700,000円、その他の交通費50,000円を計上しています。

二. その他

- ・上記以外の経費については前と同額を計上しています。

④ 委員会費

イ. 戦略計画委員会

- ・交通費として50,000円を計上。

ロ. 戦略計画推進委員会

- ・今年度は未計上でしたが、交通費として30,000円を計上。

ハ. 地区幹事会

- ・今年度は未計上でしたが、交通費として30,000円を計上。

二. 地区財務委員会

- ・今年度は未計上でしたが、交通費として30,000円を計上。

ホ. 地区監査委員会

- ・今年度は未計上でしたが、交通費として20,000円を計上。

ヘ. 危機管理委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、全国会議旅費交通費、RIJYEN 賠償責任保険、全国会議登録料、委員会会場料、危機管理研修会会場費)のとおり計上。

ト. 地区ラーニング委員会

- ・予算申請額(委員会交通費一部補助、全国セミナー登録費・交通費、会議室使用料)のとおり計上。

チ. RLI 委員会

- ・予算申請額(全国セミナー RLI日本支部参加交通費、講師謝礼、会議室利用料)のとおり計上。

リ. クラブ運営支援委員会

- ・予算申請額(委員会交通費及び貸会議室利用料)のとおり計上。

ヌ. 会員増強委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、RI セミナー参加交通費、委員会会場費)から見直しを行い、計上。

ル. ローターフェローズ2700委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、意見交換会、オープン例会に参加費)のとおり計上。

ヲ. 広報・公共イメージ委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、貸会議室使用料、セミナー開催)のとおり計上。

ワ. DX 推進委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、クラブDX化に関するツールやシステム導入)のとおり計上。

カ. ローター情報委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、会議室使用料、資料作成費用)のとおり計上。

コ. 審議会対応委員会

- ・今年度は未計上でしたが、交通費として30,000円を計上。

タ. 国際奉仕委員会

- ・予算申請額(委員会交通費のみ)から見直しを行い、計上。

レ. 社会奉仕委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、会議室使用料、アンケート作成費用)のとおり計上。

ソ. 職業奉仕委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、各クラブ委員長を対象としたセミナーの開催)のとおり計上。

ツ. 青少年奉仕委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、全国セミナー等

交通費)のとおり計上。

ネ. インターアクト委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、貸会議室使用料、全国 IAC 研究会交通費、年次大会費、クラブIA 委員長フォローアップ研修会場費、国内研修補助、資料作成費)のとおり計上。

ナ. ローターアクト委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、全国委員長・代表会議交通費、13クラブの活動支援金)から見直しを行い、計上。

ラ. RYLA・青少年育成委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、全国ライラセミナー交通費、第41回ライラセミナー事業費)から見直しを行い、計上。

ム. ローター財団委員会

- ・予算申請額(委員会交通費、財団全国セミナー出席旅費、PHSの集い経費補助、セミナー費用補助、ポリオ啓発活動備品)のとおり計上。

ウ. 予備費

- ・予備費として200,000円を計上。

3. 特別会計

(1) 地区大会分担金特別会計

- イ. 地区大会分担金収入は、地区賦課金制度による一人当たり10,000円の内8,000円とし、25,600,000円を計上しました。
- ロ. 5大会議等分担金特別会計余剰金は400,000円を計上しました。
- ハ. 地区大会ガバナー関係費は500,000円を計上しました。
- ニ. ゴルフ大会登録料は5,000円×200名で1,000,000円を計上しました。
- ホ. RI会長代理歓迎晩餐会登録料は今年度と同会場なので、今年度の予算見積を参考に6,000,000円を計上しました。
- ヘ. 支出の内、人件費及び総務費はガバナー支援室の給料、家賃、通信費、消耗品の1年分を計上しています。
- ト. RI会長代理歓迎晩餐会関係費は今年度と同会場なので、今年度の予算見積を参考に5,700,000円を計上しました。

チ. ゴルフ大会関係費は今年度の予算見積を参考に1,000,000円を計上しました。

リ. 地区大会運営費は収入金額から上記経費を控除した額を計上しました。

(2) 5大会議等分担金特別会計

イ. 5大会議等分担金収入は地区賦課金制度による一人当たり10,000円の内2,000円とし、6,400,000円を計上しました。

ロ. 5大会議等運営助成金はエレクト年度で受領していないので計上していません。

ハ. 役職者等委員会会議費はエレクト年度で受領していないので計上していません。

ニ. 支出の内、人件費及び総務費はガバナーエレクト支援室の給料、家賃、通信費、消耗品の1年分を計上しています。

ホ. 5大会議等運営費は収入金額と地区大会等分担金特別会計へ戻し入れる400,000円から上記経費を控除した額を計上しました。

(3) 国際青少年交換資金特別会計

中長期的目標は各グループから1名の派遣・受け入れであり、多くのクラブに青少年交換プログラムに携わってほしいとのことから、国際青少年交換委員会は、活動の活発化が予想されます。

更に、2026年5月に第29回日本青少年交換研究会福岡会議の開催が決定していることも含めて、前年度繰越金も野崎ガバナー年度で少額になり、今後活動を同規模で続ける場合は、会員の賦課金の増額も視野に、早めに対応策を考えなければならないと思われます。

(4) 奉仕プロジェクト資金特別会計

- ① ロータリー奉仕デー7グループ700,000円
 - ② 豊かな自然プロジェクト1,000,000円
- その他の事業予算として合計3,200,000円を計上しています。

(5) 地区事業対応資金特別会計

- ① 新設クラブ「日本一」基金の設立3,000,000円
 - ・新クラブ設立準備委員会補助、大学基盤のローターアクト設立支援、衛星クラブ活動と設立支援

② オープン例会の実施900,000円

③ 地区全体又はグループ単位の新会員研修・交流会900,000円

④ 第28回日本青少年交換研究会の山形大会に参加旅費200,000円以上、事業予算として合計5,000,000円を計上しています。

(6) 地区危機管理対応資金特別会計

近年における災害発生状況を考え大規模災害義捐金として、1案件につき最高限度額の為、5,000,000円を計上しています。

【参考】

予算確定までの手順

1. 2023年11月15日／次年度委員長宛に各委員会予算の要望書及び編成会議の案内
 2. 2023年12月26日・27日／次年度委員長と予算編成会議、zoomにて各委員会25分
 3. 2024年2月7日／ガバナー諮問委員会にて予算の概要報告
 4. 2024年2月22日／地区チーム研修セミナーにて予算作成方針と予算案提示
 5. 2024年3月10日／会長エレクト研修セミナー(PETS)次年度予算案提示
 6. 2024年5月18日／地区研修協議会にて次年度予算案の承認手続き
- *予算案は、開催日の21日前までに文書で送達(細則15.040.19)

3.吉田ガバナー現況報告

吉田ガバナー

(1) 会員数報告

・2024年1月1日現在、会員数3,145名であり、前年同月比51名の増加である。内、女性会員248名であり、前年同月比30名増。

内、衛星クラブ(RSC)会員91名であり、前年同月比32名増。RSC内、女性会員18名であり、前年同月比2名増。

・会員数の先月比となると3,164名であり減少しているが、半期で退会される会員数がある傾向を見越して考えると、全体として決して悪い数字ではないと思われる。

- ・このままの状態が進み、期末直前あたりに3,200名を超過してくれることを期待したい。

(2) 第2700 地区財団寄付状況

- ・2023年12月31日現在
ロータリー財団寄付金額134,032.24ドル（前年度162,644.34ドル 前年同月比-18%）
米山記念奨学金寄付金額23,771,351円（前年度27,066,393円 前年同月比-12%）
（普通寄付を含む）
- ・前年同月で比較するときは、各クラブ事務局の寄付取り纏めのばらつきがあるため、必ずしも現在の寄付金額での評価が難しい点がある。
- ・前回の諮問委員会からの前年差が縮小されており、あらためて両委員会委員長へ目標達成への働きかけをした成果が見えつつあると思われる。

(3) 行事予定

① IM

- 1月20日:第2グループ
- 2月3日:第6グループ(第2・第6グループ終了)
- 2月10日:第1グループ
- 2月17日:第3グループ
- 3月2日:第4グループ
- 3月23日:第5グループ
- 3月30日:第7グループ

② 地区大会

- ・これから東京、大阪、神戸、その他寒冷地でない地域などの地区大会が開催され、出来る限り出席する予定である。
- ・当地区地区大会へ同期ガバナーの出席が10名を超える見込みであり、大変光栄に思っている。地区大会含めて何とか成功させたいと思っているので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

(4) ローターアクトについて

同期ガバナーの間でローターアクトの取扱いが話題となっており、活発な意見交換があった事例を2つ紹介する。

1つ目は、ウクライナのローターアクト地区代表を第2680地区が講演に招聘した。戦争のこともあるが、

生産的で明るい話題となるかと展開を予想していたところ、日本のローターアクトがいかに閉鎖的で国際性にも欠けるかを指摘する展開となったということである。仲間づくりの懇親をもっぱらの目的とし、優しいロータリアンがこれを補助する実態が鋭く批判された。奉仕実践のフィールドにおいてこそ切磋琢磨できることを忘れ、活動の効果のアセスメントもされず、まるで「子どもの遊び」のようだとの指摘がなされたそうである。

次に、3月23日～24日に山形でローターアクト全国研究会が開催される。今までの在り方は、懇親がメインで観光旅行もセットされていたが、今回の全国研究会プログラムでは観光旅行は行わず、ローターアクトの今後を考えるディスカッションプログラムを中心に据えて組むことになっている。先般、大阪のローターアクトが自分たちでグローバル補助金を活用した事例などから、真剣にローターアクトのこれからを議論するそうである。

当地区の組織においても、ローターアクトは青少年奉仕のプログラムから切り離され、自発的なアクションを求めていく展開になると思われる。既存のローターアクトには非常に厳しい展開である反面、大学基盤ローターアクトクラブとして大牟田北RCが帝京大学福岡を基盤にRACを立上げ、福岡地域でも同様の動きが広がりつつある。このように動きのある成長点をしっかりと捕まえて、その成長点に重点的にポストイングしていくことが必要になってくるし、今後注目を集めていくポイントになっていくのではないだろうか予想している。

4. 野崎ガバナーエレクト報告

野崎ガバナーエレクト

(1) 国際協議会の全般的報告

12月のガバナー諮問委員会後に、国際協議会へ向けた壮行会を盛大に開催していただいたことにお礼が述べられ、国際協議会にパートナーと出席し全てのプログラムを終えられたことが次の通り報告された。

(資料による要点説明)

1月7日から11日の会期で米国フロリダ州オーランドにて開催される国際協議会に出席するために妻と日本時間で5日の朝、羽田の航空機事故の影響で予約便が欠航になりましたので、伊丹乗り継ぎで羽田に行きま

した。6日午前10時25分発、ヒューストン乗り継ぎでオーランド空港に到着しました。国内34人のガバナーエレクトとパートナー24人、総勢で約70人がニチームに分かれてオーランドに入りました。国際協議会の会場には世界中の520人のガバナーエレクトに加えてパートナー、ラーニング・ファシリテーター、RIスタッフ等1200～1300人が参集しました。

会期中に本会議8回、分科会9回あるプログラムの内、初日は本会議2回と分科会2回が組まれていました。ハイライトは開会本会議でのステファニー A.アーチック会長の年度テーマ講演です。2024-25年度テーマは「ロータリーのマジック」:The Magic of Rotaryが講演の最後に発表されましたが、要旨は、数週間後にポリオ根絶でパキスタンを訪問、平和を優先する、継続と変化のバランス、「ロータリーのマジック」を導くに至ったドミニカでの浄水器設置活動時のエピソードでした。魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオ根絶や世界平和を実現する情緒的な話ではなく、あるべき目標とロータリーや周囲の現状との乖離を解消するプロセス、つまり「準備・仕掛け・実践・変化」と持続可能なインパクトをもたらすことと理解しました。

分科会は約20人のエレクトによるファシリテーション形式のディスカッションです。分科会は同時通訳者に限りがありますので、2～3の言語圏で8カ国位のエレクトの構成です。英会話は苦手ですが、通訳がありますので、臆すること無く各分科会で3～4回発言しました。

日本は伝統的なロータリー観を持っている方が多数派ですが、欧米諸国とりわけ会員が急増しているアジア・アフリカ地域の DEI=多様性・公正性・包摂性の取り組みは目を見張るものがあります。どのように第2700地区に適応させていくかを思案していますが、次年度は一步踏み出す取り組みを提起したいと思います。

学んだことはガバナーとしての「自覚」「自信」「勇気」です。地区運営のキーワードは以前から考えていたことでは有りますが、「不易流行」だと確信致しました。ロータリーの原点やミッションを維持しつつ、時代や環境、文化などの変化に対応して変更・革新するべき事に対しては一つひとつ手立てを行うことが大事だと痛感しました。

(2) 2024-25 年度テーマ講演要旨と第2700地区活動方針の骨子案について

①ステファニー A.アーチックRI会長エレクトによるテーマ講演について報告がなされた。

(資料による要点説明)

「ポリオ根絶活動」が最優先事項であり、その支援の最善の方法は認識向上と資金調達です。ロータリーの行動計画「Action Plan」があり、そこからロータリーのマジック（魔法）が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要ですと呼びかけられました。

次に、「継続と変化のバランス」として世界の武力紛争の増加に対するPositive Impactを与えるためにベストを尽くすことが重要です。組織としての変化が必要であり、不安を感じるかも知れないが、共に変化すれば不安も和らぎます。そのことを念頭に行動計画の推進者（Action Plan champions）となって、行動計画の継続性（continuity in the Action Plan）をさらに築いていくのですと強調されました。私は、1935年のポール・ハリスの講演の一節「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も書き替えられなければならないでしょう」を想起したところです。

3つ目に「ロータリー行動計画の重要性」を指摘されました。行動計画はクラブでの体験を魅力的なものにするためのものです。過去50年のやり方を見直す時が来ているのかもしれませんが。クラブの衰退や会員の減少をふまえ、地域社会のニーズにあったクラブへ変化する機会かもしれません。クラブ会員の意向を知り、入会候補者との対話を図り、新しい形での新クラブの結成を視野に入れなければならないと語られました。当地区においては、衛星クラブや法人クラブといったことを指されたことだろうと思います。

4つ目に「DEI+Belonging（帰属意識）の重要性」を語られました。奉仕の心と実行力のある人は誰でもロータリーに属しています。DEIを受け入れ、行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えましょう。共通の目的のために結束しやすくなり、ロータリーは時代に即した存在になることができます。さらに、クラブの魅力を伝える語り部

(storytellers)により、クラブが魅力的であることを人びとに伝えて積極的平和を広げていきたいと思います」と語られました。

5つ目に平和構築と「四つのテスト」です。平和構築は私の最優先事項の一つであり、ロータリー財団のプログラムにより8つ目の平和センターとしてトルコのイスタンブール バーチェシェヒル大学に新設されます。2025年2月には、ロータリー会長平和会議が「分断された世界を癒す」をテーマに実施されます。全てのロータリー会員が単に四つのテストを唱和するのではなくそれを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければなりません。私は、ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」を想起しました。思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、社会的な繋がりを効果的に促すことができる他者を助けることに喜びを見出すが、自分の本質と変化のバランスを取ることが重要であると伝えられました。

また、年度テーマのカラーについて、オレンジは秋、季節の移り変わりつまり変化を、ブルーは知性や信頼、オープンなコミュニケーションを表しており、この組合せは自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しているそうです。テーマのエピソードとして、数年前、ドミニカ共和国に浄水器の設置のために赴いたときの話をされました。浄水器から透明な水が出て来るのを見た少年の1人が、私の袖をつかんで「Show me the magic again.」と言った。浄水器が魔法なのではなく、安全な水を手に入れるために沢山の人が協力して活動したことが大切なこと。私が少しでもその力になれたことを知って、私の人生も変わったことから、「ロータリーのマジック」というテーマを世界へ発信されました。

②第2700地区活動方針の骨子案について報告がなされた。

(資料による要点説明)

地区の活動計画の考え方については、ロータリーの行動計画があり、年度ごとに共同目標があります。その行動計画は3年間同一であるが、共同目標に至っては一部変更になっています。

2024-25年度の共同目標に従って地区のテーマを「変化につよく、未来をひらく」と決めました。「不易流行」の流行にあたる変化は進化していくことであり、本質を保持するためのプロセスでもあります。私たちは未来のロータリアンからも観られている思いで、ロータリーのあるべき姿を論じなければならないと考えます。私のロータリー観と職業・経営観として、企業は社会の公器・企業の基は人であるという考え方が根底にあります。従って、私の職業奉仕観もそこから派生したものになっております。

具体的に当地区の目指す姿として「出会い楽しく、例会楽しく、奉仕楽しく」できるようなクラブにしていきたい、それを地区としてお手伝いできればということでもあります。また、「ロータリーを強く大きく、良樹細根大樹深根」です。私の好きな言葉に良樹細根大樹深根があり、良い樹は根を細く大きな樹は根を深く張り巡らす、そのようなロータリーを創っていききたいとの想いです。衛星クラブの設立は先月の小郡 RCを含めて地区内 8クラブで実現しており、議長と幹事が交流する機会を年に2回設けたいと考えています。新しい形態のクラブ設立の調査・検討の段階にあり、2024年6月頃までには方向性が見えてくることと思います。また、従来のローターアクトに加えて大学基盤の学生を対象としたローターアクトの設立も進みつつあります。そのような新クラブ設立準備委員会・新設クラブの支援と活性化のための「新設クラブ日本一基金」を創設します。この基金は、複数年に渡って活用できるように手立てをしていきたいと考えております。

ロータリー行動計画と2024-25年度の共同目標に沿った、当地区の優先事項は次の通りです。

優先事項1.より大きなインパクトをもたらす

1. ロータリー平和フェローによる講演(地区大会)
2. ポール・ハリス・ソサエティーの会員拡大15人増/年
 - ・ロータリー財団委員会と安増PHSアンバサダーによる推進活動
3. ポリオ・プラス・ソサエティーの会員拡大30人増/年
4. グループ単位のロータリー奉仕デーの実施

- ・インターアクトとローターアクトへの呼びかけ
- 5. 女児のエンパワメントの啓発・研修
- 6. 障がい者福祉・スポーツ分野の講演や卓話
 - ・2024年パリパラリンピック出場の道下美里選手（福岡中央エンジョイ衛星クラブ）ヘール
- 7. ロータリー財団地域コーディネーター又はポリオ根絶・コーディネーターの講演（地区研修・協議会）
- 8. 公式訪問例会は節食ランチを提案
 - ・差額をロータリー財団又は米山奨学会へ寄附

優先事項2.参加者の基盤を広げる

1. ロバート・キャンベル氏による地区大会記念講演を「DEIのテーマ」にて依頼
2. 会員増強 年度平均3,200人 年度中3,300人達成
3. オープン例会開催の継続
4. 「豊かな自然プロジェクト・10」の継続
 - ・参加者に20%以上の会員以外の市民参加を要件に加える
5. 新クラブ設立準備委員会の設置
 - ・会員増強委員会の調査、検討を踏まえて設置
6. 大学基盤のローターアクトの設立支援
7. 新設クラブ「日本一」基金の創設
 - ・あらゆる形態のクラブ設立と設立後の活動の活性化に資金を充当（別途基金運用規程制定）

優先事項3.参加者の積極的なかわりを促す

1. 米山記念奨学会への協力の推進
2. 第2700地区クラブ活性化セミナー
 - 2024年7月13日（土）対面形式で開催
 - ・広報公共イメージ、財団、会員増強、クラブ運営支援の4委員会合同開催
3. 各クラブにおけるクラブフォーラム開催の推奨
4. カルガリー国際大会への参加登録の推進
 - ・2025年6月21日~25日:30名目標
5. ローターアクトの地区活動への参加促進
 - ・PETS へ地区代表、地区研修・協議会と財団セミナーへRAC 代表の出席を要請
 - ・全国クラブ活性化セミナーへ地区代表の派遣参加
6. 衛星クラブの活動交流会（議長・幹事）を2回開催

- ・1回目は地区研修・協議会の分科会、2回目は年度中に開催
- 7. シカゴRC誕生から120年の記念イベント
 - ・各IMでの共通テーマ記念講演
 - 仮題:「ロータリーの歴史に学び、未来をひらく」の要請
 - ・ポール・ハリス記念植樹の月桂樹5世の植樹事業（第2740地区大村RCとの共同事業）
- 8. 地区全体又はグループ単位又はエリア単位毎の新会員研修・交流会
- 9. Mで新会員紹介の機会を設定する
 - ・上半期に集中的に会員増強活動を展開

優先事項4.適応力を高める

1. My-Rotaryの登録と活用の推進
2. クラブセントラルを活用したロータリー優秀賞（現ロータリー賞）の全クラブ受賞
 - ・元気なクラブづくりが目的
3. DX推進委員会による地区・クラブのICTの導入支援
4. 第2730地区との災害時等相互支援協定の締結（九州内は全て締結済みになる）
5. 2025年7月スタートの地区新5ヶ年計画の策定
 - ・戦略計画委員会において現計画の評価、新計画の策定に取り組む
6. 第29回日本青少年交換研究会福岡会議に向けた情報収集
 - ・2026年6月6日～8日（全国から約200人参加の予定）
7. 効果的で効率的な地区組織運営を目指して
 - ・委員会及び活動のスクラップ&ビルド
 - ・国際青少年交換委員会をはじめとした青少年奉仕部門の事務局機能の強化の検討

(3) 質疑応答

穴井パストガバナー

RI会長テーマ講演で帰属意識に触れているが、クラブにおけるもので良いか。また、平和への言及については、ロータリーの範囲なのか、政治などへの働きかけの意味合いもあるのか。意欲的な素晴らしい地区メッセージと感じたが、その中で不易流行の言葉があったが、不易とはどのようなことを考えておられるか。

野崎ガバナーエレクト

帰属意識については、「居心地の良いクラブをつくりましょう」との呼びかけと捉えています。平和については、トルコのイスタンブールでのロータリー会長平和会議などロータリアンによる活動の範囲のことと考えます。不易は、ロータリー章典にありますロータリーの目的や決議23-34や四つのテストなど、ロータリーが理念として手続要覧に示しているものと捉えております。

(4) 地区カウンセラー案について

2024-25 年度地区カウンセラー・顧問として、新たにクラブ運営支援部門と戦略計画委員会・戦略計画推進委員会のカウンセラーに吉田ガバナーが新任され、その他の地区カウンセラーについては、留任となることが決議された。

(5) 2024-25年度ガバナー諮問委員会日程調整について

2024-25年度ガバナー諮問委員会の定例開催が下記の通り確定された。

- ・第1回2024年7月16日(火)
- ・第2回2024年9月13日(金)
- ・第3回2024年11月25日(月)
- ・第4回2025年2月24(月)25(火)、26(水)、27(水)3月3(月)～7(金)で調整を行う

5. 濱野ガバナーノミニー報告**濱野ガバナーノミニー****(1) 現況報告**

すべてが準備段階であり、6月までに研修・セミナーや会議をいつ実施するのか、クラブ内での委員会構成メンバーをどうするか、などつぶさに対応しているところである。RI会長のテーマが迫力に欠けているなど感じるが、それを補うように野崎ガバナーエレクトが準備されている姿勢を垣間見ると心掛けや準備の必要性を感じている。世界の流れの通りにやっても難しい点もあるのではないだろうかという認識を持っているため、自身なりに勉強させていただいている時期だとご理解いただきたい。そのため、具体的な報告事項はないが、幸いにも吉田ガバナーと野崎ガバナーエレクトという自分より若くて良き先輩からとても勉強させていただいている。年齢を重ねたガバナーとなるが、それを補う

だけのパストガバナーの皆様からのご意見を反映できるような方針を準備している。このガバナーノミニーの時期をパストガバナーの皆様がどのようにお過ごしされたかを伺いたいところであるが、毎日昼夜を問わずたくさんメールが届いているので対応できる体制を備えることを体感している。大変な役割であることの覚悟が、次第にできているが現状である。

(2) 質疑応答**井手パストガバナー**

現在のガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーは大変勉強されながら取り組んでいらっしゃるから安心している。我々のころは、ほんとに時間も不足してみさんの力を借りながらなんとかやってきたが、これだけ事前に準備されているのは素晴らしいことだと感心する。しかし、クラブでは近年のロータリー用語への理解が不足していると感じるため、具体的にわかりやすく伝えてもらうとなお良いと思う。例えば、DEIは具体的にどうするのかなどをぜひともクラブのレベルが向上するよう関わっていただければ良いのではないかと。

また、ローターアクトについては、パートナーであるという RIの方針と地区の現状とのギャップを埋めるには大変難しい課題であるが、みんなで考えていかねばならない。大学基盤のローターアクトクラブは、若い方のエネルギーをもって大いに活動していただきたいが、ぜひロータリーとの関わりを大切にしていって欲しい。このような点もクラブの会員がついていけているのか疑問があるので、ぜひわかりやすく説明いただきたいと思う。地区委員会の委員長と委員がもっとクラブを指導していただきたい。例えば、マイロータリーの登録率を上げることやクラブセントラルの活用など、直接的な指導を行っているのか心配している。

吉田ガバナー

クラブセントラルについては、今年度ロータリー賞の全クラブ受賞を目標に掲げており、全クラブがエントリーしたはずである。野崎ガバナーエレクトも次年度に同様の目標掲げているので、クラブセントラルへのアクセスは必須となっている。

それからマイロータリーに関しては、公式訪問時に指摘を行っている。登録率を向上させるためにはアテンドが必要であることをほとんどのクラブで助言を行った。100%登録のクラブはどうしているかという、アテンドする人が必ず存在しサポートしている。一方で、

若い会員が多い都市型クラブの登録率が高いかというところでもなく、例えば大川RCや小倉中央RCは100%登録でありアテンドの必要性を地道に伝えていかねばならない。

ローターアクトに関しては、ご指摘の通りで具体的な指示や目標を示せる状況にないのは間違いないが、仕組みのやり方を変化させつつ要保護者ではないジュニアパートナーであることを意識の中に刷り込んでいかねばならない。しかし、ローターアクターが付いてこれない中では、多少補助をしつつも自立を促していくが、場合によっては梯子を外すことまでやるのが地区の判断として求められている状況である。中々、その決断までは難しいため、ジュニアパートナーとしての仕組付けを地区委員会が中心に取り組んでいるところとしてご理解いただきたい。貴重なご指摘をありがとうございました。

6. 第3回戦略計画委員会報告

貫バストガバナー

本日、ガバナー事務所会議室にて全員出席にて開催され、その内容が報告された。

(1) 地区規程の改修

地区の委員がセミナー講師や卓話を行った場合の謝礼金に関して検討を行った。地区内において謝礼金は無しとする。地区外の場合は、都度で対応する。但し、交通費と宿泊費については実費相当額をいただくことは差し支えないということを「謝金に関する規程」として決議した。

(2) 地区役職者名簿の作成について

以前まで冊子として作成されていたが、廃止され不便であり発行できないかとの要望があっている。冊子を作成すると負担があるため、セキュリティ管理のもとデータとして整備を行う方向で結論づけた。その作業は以前と同様にガバナー事務所にて実施することに決定した。

(3) 地区戦略計画推進委員会委員の選任

任期満了にて矢野委員長の退任に伴い、次年度委員の新任を検討した。当委員会は歴代の地区幹事で構成されているため、大橋次年度地区幹事を新任とするこ

とを承認した。それから、次年度委員長として中島伸一郎氏が就任することが決定した。

また、戦略計画委員会の大きな課題として、2025年6月に戦略計画が終了年次になるため、現計画の評価と新計画の策定方法をどう進めるかがある。これらの課題に取り組むことが確認された。

(4) 地区資金の件

地区資金の剰余金について、有効な活用方法について意見交換がなされた。

7. 災害支援金報告、地区大会準備状況報告の件

大神地区幹事

能登半島地震の災害支援金を地区内クラブに要請したところ、一部のクラブは独自の支援を検討されるということで、57クラブから合計6,578,056円が集まっている。特に目を惹くのは、福岡城西RCであり、姉妹クラブである台湾の員林RCからの300,000円をあわせて1,000,000円を寄付された。これらの合計6,578,056円の支援金を該当地区に送金する予定である。また、ローターアクトクラブは17,143円を独自に送金済みである。なお、1月5日に地区危機管理対応資金より1,000,000円を送金済みである。

地区大会の準備にあたり、何かとバストガバナーの皆様にはご協力をお願いすることもあろうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(議事録作成／次年度地区幹事 大橋晋弘)

令和6年能登半島地震 支援金報告

地区幹事 大神 朋子 (福岡東RC)

本年1月1日能登半島を襲った大地震について、地区内に支援金を募集させていただいたところ、57クラブより多くの支援金が寄せられ、支援金の合計額は6,578,056円となりました。この中には、台湾(中華民国第3460地区員林RC)からの支援金30万円が含まれております。

また、3クラブについては独自の支援をされると伺っております。

1月に地区危機管理対応資金より100万円を送金し、別途ローターアクトから送金された17,143円を含めると当地区の支援金は合計6,593,156円となり、3月29日までに国際ロータリー第2610地区へ送金をいたしました。

会員の皆様のご厚情に感謝を申し上げますとともにご報告申し上げます。

なお、ガバナー会(本年3月13日開催)において同地区の原勉ガバナーから報告されたところでは、例会場が被災したり、会員と連絡がつかないなど、例会の再開の見通しがつかないクラブもあるとのことでした。(本年1月31日現在)

被災地のみなさまが一日でも早く日常を取り戻されることを心よりお祈りいたします。

福岡城西ロータリークラブ 創立60周年記念例会・記念祝賀会

2023-2024年度会長 高杉 義明 (福岡城西 RC)



第50代～第60代歴代会長

令和6年1月30日(火)、福岡城西ロータリークラブ創立60周年記念例会・記念祝賀会が、ホテルオークラ福岡にて盛大に開催されました。

ご出席いただきました方々は、吉田ガバナー、野崎ガバナーエレクト、濱野ガバナーノミニ、小山田パストガバナーを始めとする4名のパストガバナー、RI第2700地区第4および第5グループガバナー補佐、同グループ内の各ロータリークラブ会長及び幹事、姉妹クラブの中華民国・員林ロータリークラブ会員、友好クラブの唐津東ロータリークラブ会員、また海外派遣奨学生支援の対象校西南学院高校学校の先生等、多くのご来賓の皆様とご家族、さらには当クラブ名誉会員および先輩、ローターアクト、交換留学生、

海外派遣奨学生、当クラブ会員とご家族等、総勢213名でありました。

記念例会は午後4時に会長点鐘で開会し、来賓紹介、物故会員追悼、会長挨拶、吉田ガバナー及び黄・員林ロータリークラブ会長の祝辞と続きました。また、今回直前に能登半島地震による甚大な被害が発生したことに對し、員林ロータリークラブと当クラブが合同で義援金100万円を送ることとし、吉田ガバナーに委託致しました。次いで、地元福岡に対する社会奉仕活動を含めたクラブ内各種表彰の後、創立60周年記念事業として現在実施中の西南学院高校生を対象とする留学奨学金制度をさらに10年間継続することを発表しました。最後に灘谷パストガバナーが「ロータ

リーの歴史をたどる」と題した約50分間の記念卓話をなされ、出席者一同は「ロータリーの理想を不易流行の考え方で継承発展させよう」という卓話の眼目に感銘を受けながら拝聴いたしました。最後に江里口副会長の閉会の言葉に続き、会長の点鐘をもって午後6時に閉会となりました。

引き続き記念祝賀会が開始されました。冒頭、精華女子高等学校吹奏楽部による盛大なファンファーレ、メリハリのある演奏、広い会場を利用したマーチングとバトントワラーの華やかな演技により、会場の雰囲気は一気に最高潮に達しました。次いで黄・員林ロータリークラブ会長と当クラブ会長による記念品交換が行われました。その後歓談となり当クラブ例会の伴奏をお願いしている小野直子さんのピアノ演奏も行われ、会場はなごやかな雰囲気になりました。約2時間の祝賀会も終わりに近づき、ロータリーソング「手に手つないで」を出席者全員が実際に手をつないで大きな輪を作って唱和した後、江見実行委員長が謝辞を申し述べ、最後に当クラブ恒例の「締め(博多手一本)」



令和6年能登半島地震に対する義援金贈呈
員林RC黄会長・福岡城西RC高杉会長・RID2700地区吉田ガバナー

が行われ、8時過ぎに閉会となりました。

粛々と進められた記念例会となごやかな雰囲気に包まれた記念祝賀会が無事に終了し、当クラブの歴史を飾る1ページとして参加者の記憶に刻まれたことと思います。



ロータリーソング 手に手つないで

青少年交換における災害時等 相互支援協定を2720地区 (大分・熊本)と締結

国際ロータリー第2700地区

国際青少年交換委員会

委員長 **大島 弘三** (鳥栖 RC)



膳所 DG、吉田 DG (博多芙蓉にて)

日頃よりロータリー青少年交換プログラムへご理解とご援助を賜り心よりお礼申し上げます。

さて2700地区では高校生を対象とした約1年間の長期交換を行っています。今年元日には能登半島において大地震に見舞われ、大変な被害をもたらしております。このように日本ではいつどこで自然災害に遭遇するか分かりません。そこで、青少年交換受入学生の安全を確保し、地区青少年交換プログラムを適切に運営維持する為に、近隣近郊の地区が相互的に支援し合うことに目的とする地区間協定の締結が進められています。

当地区では、協定書の素案を末松危機管理委員長に作成いただき、その条文には災害時に限らず普段か

ら交流があれば緊急時により迅速な対応が取れるものと通常時の協力体制も折り込んだ内容になっています。

早速、22-23西島年度に、2720地区(佐賀・長崎)と今年度は2720地区(大分・熊本)の膳所ガバナー、PDG硯川危機管理委員長、馬ノ青少年交換委員長のご理解のもと「青少年交換における災害時等相互支援協定」を昨年12月に締結することができました。今後は、この協定をもとに相互活発な活動を行なっていく所存です。

会員の皆様には引続きロータリー青少年交換プログラムにご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

災害時等相互支援協定書

1. 目的

国際ロータリー2720地区、国際ロータリー2700地区のガバナー及び青少年交換委員会は青少年交換受入学生の安全を確保し、地区青少年交換プログラムを適切に運営維持することを目的として、災害時及び通常活動時に相互的に支援し合うことに合意する。

2. 災害発生時

非被災地区は被災地区に対し人的、物的、移動、宿泊などの支援を行う。その時にかかる費用については支援時に取り決めるものとする。また、(一社)国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(以下 RJJYEM とする)からの借入れによる適時かつ迅速な対応も検討する。

3. 対象者

被災地区から要請された青少年交換受入学生を支援対象者とする。

4. 通常時の相互支援

要請があれば地区相互でオリエンテーションや研修の合同開催や運営支援を行う。また、その際の学生の地区間相互移動については移動届の免除等柔軟に対応する。

5. 期間

協定期間は2023年7月1日から2024年6月30日とし、毎年6月30日までに各地区の青少年交換委員長から別段の意思表示がなければ、本協定は同一内容で毎年7月1日から翌年6月30日まで自動更新することとし、以後も同様とする。また、各地区の青少年交換委員長は地区ガバナーに協定が更新されたことを報告する。

6. データ共有

各地区はRJYEM が運用する青少年交換システム YESS に学生の情報の入力を実際に行うこととする。特にホストファミリーの情報を入力することに注力することとする。

7. 大規模災害時の対応

被災地区の災害が大規模であるなど連絡困難な場合は、被災地区からの要請がない場合でも、YESS のデータを活用するなどして非被災地区が青少年交換受入学生の救援、受入れに向かうことも検討し、相互に受入学生の安全確保に努めることとする。

8. 署名

この協定書は2通作成しそれぞれに各地区ガバナーと危機管理委員長及び青少年交換委員長が署名したのち1通ずつ各地区で保存することとする。

2023年12月9日

国際ロータリー2700地区
ガバナー

吉田 知弘

危機管理委員長

末松 寿一

青少年交換委員長

大島 弘三

国際ロータリー2720地区
ガバナー

膳所 和彦

危機管理委員長

碓川 昭一

青少年交換委員長

高木 昌実

米山記念奨学生紹介



福岡工業大学大学院
工学研究科
博士課程2年生
世話クラブ: 鳥栖RC
カウンセラー: 江上満男

アンパイリ・プーデット (タイ)

福岡工業大学院で第5世代移動体通信システムの研究を行っています

私はアンパイリ プーデットと申します。タイから参りました。現在、福岡工業大学大学院・工学研究科博士課程・知能情報システム工学専攻の2年生です。私の強みは真面目な性格だと思っています。私は興味の有無に関わらず、与えられた仕事は責任を持って最後までやり遂げ、何事にも自律的に全力で取り組むよう心がけています。

現在、私が最も興味があり、時間を費やしていることは研究活動と語学の勉強です。研究活動では第5世代移動体通信システムについて研究しています。人間の生活にとってインターネットは必需品であり、屋内・屋外関係なく様々な場所から多種の機器をインターネッ



トに接続することが期待されていますが、実際には様々な通信システムが存在し、円滑な通信ができない状況があります。そこで、これらを人間の介在なしにシームレスに接続管理するための研究に取り組んでいます。また、語学に関しては、研究の合間を縫って毎日進めています。日本語学習を始めて3年あまりになりますが、今は特にビジネス日本語や場面に応じた会話を中心に勉強しています。ロータリー米山奨学生になったことで、多くの人との文化交流を通してもっと日本のことを深く理解し、自身の成長につながれば良いと思っています。今後も、持ち前の粘り強い性格を生かし勉強を続けていきます。

博士取得後はネットワーク分野を専門とする大学教員か、研究所の研究者になりたいと考えています。ネットワーク分野が世界的に発展してきた一方で、この分野の研究者は不足しています。そのため、日本に留学する前よりもこの分野で活躍したいと強く考えるようになりました。ネットワーク分野の技術革新は非常に速いため、日々研究に邁進する必要があります。将来、ネットワーク分野知識や技術を生かし、社会に貢献するため、日々の研究に取り組み、世界に通じる研究者になりたいと考えています。



リ セイギョク
李 倩玉 (中国)

早稲田大学大学院
情報生産システム研究科
修士課程2年生

世話クラブ: 若松中央RC
カウンセラー: 森藤達雄



早稲田大学大学院にてスマート コンタクトレンズの研究をしています

米山ロータリー奨学生のリ・セイギョクと申します。私は中国の山西省出身で、現在は早稲田大学大学院医工学専攻の修士2年生として学んでいます。

幼少期から日本への憧れがあり、高校卒業後に留学の機会を追求しました。学部時代には人間の心電図と自律神経活動の関連性について研究しました。人間の心臓が血液を全身に供給する際に微小な電気信号が発生し、心電図はこの信号を捉えて健康診断などに活用されます。しかし、心電図検査は被験者が静かな状態でなければならず、電極を体に取り付ける必要がありました。また、動きによって信号が乱れることがあり、情報の信頼性に課題がありました。その経験から、日常的な診断や疾患の早期発見を可能にするために、気づかれずに生体情報を計測できるシステムの開発に興味を持つようになりました。

大学卒業後、早稲田大学大学院に進学し、現在はスマートコンタクトレンズに関する研究に従事しています。スマートコンタクトレンズは、通常のコンタクトレンズに電子機器を統合したもので、私の研究では導電性高分子ゲルに金製のマイクロ電極を取り付けることにより、生体情報を解析できるシステムの構築を目指しています。スマートコンタクトレンズを使用すれば、目からさまざまな情報を収集し、目の健康や疾患の早期発見、いつでもどこでも目の状態を監視することが可能となります。これにより、医療分野での利用や新たな医療アプリケーションの開発に寄与することを期待しています。



日常生活の中で、時間が許す限りボランティア活動として中国語教育にも携わっています。言語コミュニケーションを通じて相手との交流を深め、日本語だけでなく英語のコミュニケーション力も向上させました。異なる文化や考え方に触れることで、多角的な視点を養い、物事を多面的に考える力を培いました。また、日本の魅力や文化に触れ、自国の文化を紹介する機会を通じて、国際交流に貢献することを大変嬉しく思っています。この度ロータリーの奨学生になってから、奨学生としてロータリーと交流する機会を通じて、多くの価値ある経験を得ることができました。ロータリーの例会への参加を通じて、国際的な視野、組織運営の重要性、社会貢献の価値、心の健康、個人的な成長などについて学びました。これらの経験は、私の人生に大きな影響を与え、今後の成長と社会への貢献に繋げていきたいと考えています。

クラブ紹介

第6グループ 甘木RC 「ロータリアンとしての誇りを」

私ども甘木ロータリークラブは、福岡ロータリークラブをスポンサークラブとし、創立64年、会員数58名(うち女性会員2名)で構成されております。例会は火曜日12時30分より、福岡センチュリーゴルフ倶楽部内のザ・センチュリーホールで行っております。

夜間例会は、計6回、県下有名観光地「原鶴温泉」を主に懇親を深め、また、お隣の浮羽ロータリークラブさんと毎年5月に懇親ゴルフ、合同例会を催しております。

クラブの特徴として、甘木朝倉という土地柄、クラブメンバーの大半が若い頃からの付き合いの長い面々で、先輩後輩の間柄でもあり、例会での集まりなど和気あいあいとした雰囲気です。出席率は非常に高く、活気あふれる組織です。



甘木RC 2023-2024年度会長 綾部 茂明

本年度は綾部茂明会長のもと、「エンジョイロータリー」「ロータリアンとしての誇りを」の2大スローガンを掲げ、ロータリー活動を楽しく、そして例会を充実させ魅力あるものに充実させて、メンバーが誇りをもって活動する組織を目指しています。

3年前よりCLPを導入し、大幅に委員会変更を行い、クラブを一新しました。また長期計画委員会を組織し、クラブの財政面など中長期にわたる課題を検討しております。

3年前、江戸時代秋月藩にて天然痘の克服に挑み、日本初の種痘(予防接種)を成功させた緒方春作をはじめとする偉人の働きを絵本にまとめ、地元の小中学校に寄贈する事業を支援いたしました。

また、本年度は、「秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ (天智天皇)」の百人一首筆頭歌が詠まれたゆかりの地ということにちなみ、この地で毎年開催されている百人一首朝倉大会への支援を行いました。いずれも地区より補助金を頂き事業を遂行してまいりました。



「百人一首朝倉大会の様子」



公式訪問時集合写真

第6グループ 久留米RC 3名のガバナーを輩出!!

久留米ロータリークラブは、昭和27年9月19日に福岡ロータリークラブをスポンサーに37名のチャーターメンバーによって創立され、同年11月21日に国際ロータリーより承認されました。チャーターナイトの開催は、当時の政局の混乱（吉田内閣、馬鹿野郎解散）や、昭和28年筑後川大水害により延期となり、発足1年半後の昭和29年4月に再延期の末、全国34のロータリー 248名の会友、20名の来賓、ホームクラブ71名、合計339名の参加を得て、盛大に開催されました。以降、6ロータリークラブのスポンサークラブとして設立支援を行い、第58代会長

パストガバナーの井手和英会友をはじめ3名のガバナーを輩出しています。

令和6年3月現在会員数86名（内女性4名）が在籍し、原則毎週金曜日12:30より、萃香園ホテルにて例会を開催しており、その数は今日までに3400回を超えています。会員間の親睦を深め、地域に根差した社会奉仕活動はもちろん、ポリオ撲滅のためのチャリティー例会やゴルフ大会の開催による支援、能登半島地震災害支援などを積極的に行っています。



久留米RC 2023-2024年度会長 桜枝 泰秀



チャリティーゴルフ例会 —— ポリオ撲滅のためのチャリティーゴルフ



歳末親睦会チャリティー例会 —— 歳末例会時に出演した、アウトオブバース（ロータリー合唱団）

第6グループ 久留米中央RC 青少年の健全育成に寄与する活動を続けています



久留米中央RC 2023-2024 年度会長 曾文 顕

1890年創立。出席率100%を5年連続継続中。久留米市の青少年育成課とともに「薬物乱用防止教室」を市内全小学校で20年以上に渡って年2回実施。近年は「手を洗おうプロジェクト」として、市内小学校にハンドソープを寄贈。少人数ながら、青少年の健全育成に寄与する活動を続けています。米山記念奨学会への寄付活動も活発に行っており、地区大会では毎年表彰を受けています。

昨年7月に「久留米中央みらいロータリー衛星クラブ」を設立、今年1月には創立記念式典を開催しました。衛星クラブメンバーを合わせた会員数は50名。女性や外国籍のメンバーも多く在籍し、様々な価値観を共有する和気藹々としたクラブです。

また台湾高雄文山ロータリークラブと姉妹クラブ締結。今後の国際交流が楽しみです。



薬物乱用防止教室



親睦旅行



久留米水の祭典・冷茶サービス



久留米中央みらいロータリー衛星クラブ 創立記念式典

第6グループ 久留米東RC

地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでいます



久留米東RC 2023-2024年度会長 森光 雅敏

久留米東ロータリークラブは、1962年9月27日に創立された、国際ロータリー第2700地区第6グループに属するクラブです。

例会は、毎週月曜日の12:30から13:30まで、ホテルニュープラザ久留米で開催されています。

会員数78名のうち、女性会員数は7名です。

当クラブは、地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでおり、会員間の親睦と交流を深めることを大切にしています。

2022～2023年度の会長は最所美博氏が務め、創立60周年を迎える記念すべき年に「魅力あるクラブを目指して更なる一歩」を踏み出し、2023～2024の会長は森光雅敏が務め、2月3日に行われた国際ロータリー第2700地区第6グループのIMでは「希望の扉を開こう」というテーマの基、10年後の各クラブの未来図を共に考える機会としました。

社会福祉法人久留米市社会福祉協議会へのお米寄贈など、地元社会への貢献活動も積極的に行っています。



第6グループ IM (2024年2月3日)



久留米市社会福祉協議会へ米寄贈 (2024年2月14日)



歳末家族会 (2023年12月18日)

第6グループ 久留米北RC

久留米北RCには、独自の委員会があります

久留米北ロータリークラブは、1977年10月に久留米ロータリークラブをスポンサークラブとし創立され本年46周年になります。1月末現在、会員数77名（うち女性会員7名）例会は毎週木曜日12時30分から13時30分まで、萃香園ホテルで開催しています。

89歳から37歳まで、幅広い年齢層の会員が和気藹々とした雰囲気のなか様々な活動を行っています。我がクラブには独自の委員会があり、会員に医師が多いことで作られた、会員の健康管理を行う「健康管理委員会」、食育を考える「食育委員会」や「スポーツ親善委員会」があります。

親睦活動としてゴルフ同好会や野球同好会があり、野球同好会は過去に甲子園球場で開催された全国RC野球大会に1987年の第6回大会より第2700地区及び第2740地区の代表として出場し、3回の全国優勝を達成しました。また、現在は野球の楽しさを子ども達にも感じてもらうため久留米市野球連盟との共催で「野球感謝祭」を行っており多くの子ども達が笑顔で参加しています。

姉妹クラブである台湾の花蓮RCとは40年間交互訪問し交流を続け、国際親善にも取り組んでいます。



久留米北RC 2023-2024 年度会長 横溝 當一



吉田ガバナー公式訪問（2023年8月31日）



ロータリー野球大会 宮崎大会



久留米市野球場 野球感謝祭

第6グループ 小郡RC

2024-25年度ガバナー輩出へ全力前進！



小郡RC 2023-2024年度会長 田端 弘幸

創立42年目の小郡ロータリークラブは、48名の会員が在籍しており、2024-25年度に野崎千尋君をガバナーとして輩出します。本クラブ初のガバナー輩出となるため、支援室の開設はもとより、他クラブとの連携を深めながら活動を進めています。このガバナー輩出の機会、本クラブの新たな学びの機会となっており、クラブフォーラムを行うなど、活発なクラブ運営となっています。なかでも今年度は、社会奉仕活動として「小郡夢HANABI」で「焼きそば」「かき氷」「フライドポテト」の出店を行い、収益全額をポリオ撲滅支援へ寄付を行いました。この活動は、会員同士の結束がたいへん強まりました。さらに今年度は、小郡七夕ロータリー衛星クラブがRIからの認証を受け、12名でスタートしています。ガバナー輩出をすることは、頑張りが必要ですが、会員同士が力を合わせる場面が多くなり、元気なクラブになっています。



夢HANABIで出店(ポリオ根絶の支援活動) 2023年8月11日



夢HANABI集合写真 2023年8月11日



クラブフォーラムを開催！ 2023年10月16日



宝満川ノーボーイ運動(宝満川一斉清掃で頑張る) 2023年10月22日

鳥栖ロータリークラブは1975年2月23日に久留米ロータリークラブをスポンサークラブとして設立され、来期50周年を迎えます。

主な事業として長年にわたり「まつり鳥栖」に参加し、バザーを行い又インターアクトクラブとも連携しポリオ撲滅運動のPRや募金活動を行っています。青少年交換留学生の受け入れも積極的に行ない、今年もアメリカからの留学生を迎え入れています。彼らが将来世界友好の懸け橋に成長してくれることを願って、地区やクラブの行事にも参加してもらっています。また、インターアクト

クラブの例会にも参加していただき高校生同士の意義ある交流ができました。

ここ数年はフードバンク事業にも取り組み、1市2町への支援活動を行い生活困窮者の方々が希望をもって生活していけることを願い事業を継続しています。

本年度「新しい発想と新たな行動にチャレンジしよう」をテーマにCLPに取り組む一環として組織を大幅に変更しました。委員会活動を活性化し会員相互のフェロウシップをさらに高め積極的な奉仕活動に取り組んでいます。



鳥栖RC 2023-2024年度会長 天野 二夫

設立周年 49年
 例会 毎週水曜日 12:30～
 例会場 ホテルビアントス
 会員数 54名(内、女性会員5名)



フードバンク事業



フードバンク事業



青少年交換プロジェクト



まつり鳥栖(ポリオ募金 IAC参加)

第6グループ 浮羽RC

融和的で穏やかな雰囲気クラブです



浮羽RC 2023-2024年度会長 包行 弘毅

1. クラブの概要

- ① 設立：1971年9月22日
- ② 例会：毎週水曜日
- ③ 会員38名(内女性1名、会長経験者17名)
- ④ 例会場所：泰泉閣
- ⑤ クラブ区域：うきは市及び久留米市田主丸町(地域人口3万人)

2. クラブの特徴

- ① 会員相互が融和的で穏やかな雰囲気のクラブです。
- ② 昨年度の、IM主催では皆が多いにまとまり大変活性化致しました。
- ③ 活動方針の中心に「青少年育成」を掲げております。そのため以下の様なクラブ活動をメインに活動しております。

3. クラブの主な「青少年育成事業」活動内容

- ① タイ国の小中学校に浄水器及び学校活動用品の贈呈、本年度で10回目となります。
- ② 浮羽ロータリクラブ杯を冠した、学童野球選手権大会の支援
- ③ 子ども食堂への支援
- ④ 小学校に対する薬物乱用防止教室の支援



クラブ会員集合写真(ガバナー訪問時)



タイ国学校支援(式典風景)



少年野球大会

ローターアクトクラブ活動報告

第2700地区ローターアクト委員会

直前代表 森下 優 (福岡城西RAC)

平素よりお世話になっております。ローターアクトより活動報告させていただきます。

1. 若松ローターアクトクラブ公式訪問

2月22日、若松生涯学習センターにて若松ローターアクトクラブの地区ローターアクト代表公式訪問を開催しました。「国際関係論」を学ぶことを趣旨にグループワークやゲームなどを通じた例会でした。現在同クラブは3人と少人数ながらも、非常に充実した内容であり、今期最後の公式訪問を締めくくるにふさわしい内容でした。



若松ローターアクトクラブ公式訪問

2. 田川ローターアクトクラブ 創立35周年記念式典

2月23日、香春町町民センターにて田川ローターアクトクラブ創立35周年記念式典を開催しました。式典にあたってのターゲットを「道」とし、これまで35年間歩んできた道のりを振り返り、今後へつながる式典だったと思います。記念事業では、これまで交流をしてきた、みろく園様へ竹灯籠を作成しお渡ししました。現在田川ローターアクトクラブは会員一人で活動していますが、様々な協力のもと、見事式典を成功させました。

3. 南部インターシティーミーティング

2月24日、福岡市の西鉄本社ビルにて福岡市・久留米市周辺の7クラブと八幡ローターアクトクラブ主催でインターシティーミーティングを開催しました。ローターアクトの広報活動を主軸に、チームに分かれ、1分間のCMをそれぞれ作成しました。3時間の中で、企画、撮影、編集までを完了しました。今後はSNSにて活用することで、広報、会員増強を目指します。ローターアクトを深く考えることができ、課題を解決する充実したプログラムでした。



2月24日IMではPR動画を作成



田川ローターアクトクラブ創立35周年式典

【投稿】

元交換留学生とオーストラリアで再会

ロータリーフェローズ2700委員会

今村 次美 (太宰府RC)

2005年～2006年に交換留学生として来日していた、オーストラリア出身のエイダン君を訪ねて西オーストラリア州 パースに行き久しぶりの再会を果たしました。

2月6日福岡空港出発 東京成田空港到着時の気温は2.6℃。滑走路一面が雪景色になっていました。

成田空港から直行便で約10時間後、オーストラリアパース空港に到着。パースは、気温38℃で真夏日でした。

エイダン君は現在シドニー在住ですが、実家のパースまでシドニーから4時間かけて駆け付けてくれました。

ロットネスト島やナンバレ国立公園ピナクルズ、キングスパーク、モンガー湖など、様々な場所を案内してくれました。そして、インド洋ビーチにて、2人で海水浴を行い、地ビールとワインで乾杯、美味しいオーストラリア料理を堪能しました。

滞在中に2人で西パースロータリークラブを訪問してメーキャップをしました。

全会員で歓迎してくれました。会員のなかには、日本留学経験者が2名いらっしゃいました。片言の日本語でお話しをして頂き、大いに盛り上がりました。

18年前、エイダン君が帰国する際に一緒にパースに行きましたが、現在、都心部は高層ビルが多く建ち並び大発展を遂げていました。一方で、スワン川の広大緑地公園、フリーマントルの街並み、マーケットは18年前と全く変わり無く、正に歴史を守りながら発展していく素晴らしい文化をあらためて学びました。

18年の月日が流れても『日本のお父さん』『日本のお母さん』と呼んでくれる、交換留学生との交流は、私にとってロータリー活動で得た大きな財産です。

帰国する際は、「また会おう!!」とエイダン君と固い握手をしてオーストラリアをあとにしました。

1. 正式名前 Lego Aidan Roger レゴ エイダン ロジャー
2. 留学期間 2005. 1. 18 ~ 2006. 1. 7
3. オーストラリアスポンサークラブ
第9450地区 Scarborough Beach RotaryClub



ナンバレ国立公園砂漠_気温44℃



エイダン君と



エイダン君とインド洋



フリーマントル街並み



エイダン君が大切に持っていた博多祇園山笠の写真



西パースロータリークラブ例会_左端はエイダン君

2月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当期末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (3/7現在)	24年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減		
1	豊 前	5	82.64	30	2	0	0	30	2	1	1	0	68.97	30
	豊 前 西	2	69.93	8	1	0	0	9	1	1	0	1	44.44	13
	刈 田	4	71.90	34	4	0	0	36	6	3	1	2	69.44	40
	田 川	4	94.27	39	3	0	0	38	3	1	2	-1	97.37	41
	行 橋	3	80.34	45	6	0	0	47	7	2	0	2	95.00	51
	*衛星クラブ	2	76.24	14	8	0	0	13	7	1	2	-1	100.00	18
	行橋みやこ	4	69.51	55	3	2	0	57	3	3	1	2	100.00	57
計 (6RC)	24	78.88	225	27	2	0	230	29	12	7	5	79.20	250	
2	小倉	3	89.40	66	4	0	0	72	4	6	0	6	27.78	63
	小倉中央	3	92.37	41	13	1	0	43	12	3	1	2	83.72	46
	小倉東	3	86.04	93	6	0	0	97	7	6	2	4	56.70	100
	小倉南	4	98.37	52	0	3	1	57	0	7	2	5	24.56	60
	小倉西	4	80.96	44	1	0	0	46	1	4	2	2	17.39	49
	門 司	5	87.05	31	2	0	0	34	2	4	1	3	2.94	36
	門 司 西	4	75.00	36	0	0	0	38	0	2	0	2	34.21	43
	戸 畑	5	83.71	18	2	0	0	17	2	0	1	-1	41.18	21
	戸 畑 東	3	90.54	23	2	0	0	23	2	1	1	0	30.43	25
	若 松	3	85.69	22	4	0	0	22	4	0	0	0	63.64	24
	若松中央	4	75.69	23	1	0	0	21	1	1	3	-2	33.33	25
計 (11RC)	41	86.55	449	35	4	1	470	35	34	13	21	37.81	492	
3	飯 塚	4	93.12	72	0	0	0	73	0	3	2	1	16.44	78
	直 方	3	81.84	33	4	1	0	36	4	3	0	3	51.43	42
	直方中央	2	85.79	32	6	0	0	33	6	1	0	1	100.00	34
	遠 賀	3	82.11	44	4	0	0	46	5	3	0	3	45.65	49
	八 幡	4	83.84	45	5	0	0	45	6	4	4	0	24.44	55
	八幡中央	3	96.29	50	3	0	1	50	5	4	4	0	54.00	55
	八幡南	4	85.17	49	1	0	0	49	1	1	1	0	36.73	52
	八幡西	3	94.24	49	0	0	0	51	0	2	0	2	37.25	52
計 (8RC)	26	88.87	374	23	1	1	383	27	21	11	10	45.74	417	
4	太 宰 府	2	92.17	46	4	0	0	45	4	0	1	-1	100.00	50
	福 岡	4	84.44	118	2	2	1	132	3	19	5	14	66.67	135
	福岡平成	3	79.36	45	12	1	0	50	11	7	2	5	70.00	50
	福岡東	4	81.41	74	15	1	0	77	15	3	0	3	72.83	82
	*衛星クラブ	2	87.04	14	2	0	0	15	2	1	0	1	72.83	18
	福岡城南	4	84.64	51	10	0	1	53	9	4	2	2	38.89	63
	福岡南	3	77.60	87	0	0	0	90	0	3	0	3	96	96
	*衛星クラブ	1	87.27	9	4	0	0	10	5	1	0	1	79.00	12
	福岡東南	3	69.35	72	8	0	0	71	10	3	6	-3	59.78	79
	*衛星クラブ	1	56.69	15	2	0	0	24	2	13	1	12	59.78	13
	博多イヅミ	4	75.85	51	11	0	1	52	10	4	3	1	94.34	52
	宗 像	4	76.61	42	5	0	0	45	5	5	2	3	62.22	47
	対 馬	4	78.48	21	4	0	0	22	4	2	0	2	5.88	23
*衛星クラブ	2	87.22	12	2	0	0	12	2	12	0	12	5.88	13	
計 (10RC)	41	80.16	657	81	4	3	698	82	65	22	43	64.96	733	
5	福 岡 中 央	3	86.84	50	5	2	0	53	7	6	1	5	68.25	54
	*衛星クラブ	2	89.38	9	1	0	0	10	1	1	0	1	68.25	11
	福岡イヅミ	3	72.19	31	5	0	0	34	7	4	1	3	60.00	35
	福岡城西	3	93.38	111	0	0	0	118	0	8	1	7	28.81	130
	福岡城東	2	87.50	27	3	0	0	26	2	2	2	0	15.38	29
	福岡北	2	86.93	55	0	0	1	55	0	5	5	0	35.71	67
	福岡西	3	89.92	137	1	0	0	145	2	12	4	8	32.41	145
	博 多	2	95.11	51	3	1	0	59	6	8	0	8	68.97	61
	壱 岐	4	86.20	40	2	0	0	40	2	0	0	0	62.50	43
	壱岐中央	4	81.35	24	1	0	0	27	1	5	0	5	55.56	30
	糸 島	3	81.69	55	1	0	0	54	1	2	3	-1	57.41	60
計 (10RC)	31	87.85	590	22	3	1	621	29	53	17	36	48.50	665	
6	甘 木	3	89.06	59	2	0	0	58	2	0	1	-1	43.10	62
	久留米	3	82.60	85	4	0	0	86	4	1	0	1	31.40	90
	久留米中央	3	99.25	39	3	0	0	39	3	0	1	-1	52.00	46
	*衛星クラブ	2	100.00	0	0	0	0	11	2	0	0	0	100.00	0
	久留米東	2	84.70	78	7	0	0	78	7	1	0	1	32.05	80
	久留米北	4	85.31	75	7	0	0	77	7	2	1	1	42.86	78
	小 郡	3	90.10	48	1	0	0	48	1	1	0	1	33.33	52
	*衛星クラブ	1	100.00	0	0	12	0	12	0	12	0	12	33.33	52
	鳥 栖	3	86.54	51	3	0	0	54	5	1	0	1	40.74	65
浮 羽	3	78.92	37	1	0	0	38	1	0	0	0	28.95	44	
計 (8RC)	27	86.62	472	28	12	0	501	32	18	3	15	38.05	517	
7	筑 後	3	98.25	21	0	0	0	25	0	4	0	4	36.00	24
	大 川	4	82.07	39	1	0	0	41	1	3	1	2	92.68	45
	大牟田	4	88.92	65	5	0	0	65	5	0	0	0	46.15	66
	大牟田北	5	81.05	50	2	1	0	53	2	4	1	3	77.36	53
	大牟田南	2	85.30	24	0	0	0	25	0	2	1	1	28.00	29
	八 女	3	79.94	23	3	0	0	25	4	2	0	2	8.00	26
	柳 川	2	83.24	47	4	0	0	45	4	0	2	-2	71.11	48
計 (7RC)	23	84.97	269	15	1	0	279	16	15	5	10	51.33	291	
総 計	クラブ数												My Rotary登録率 (3/7現在)	24年7月1日 目標会員数
	60	84.84	3,036	231	27	6	3,182	250	218	78	140	53.16	3,365	

*衛星クラブ:行橋COSMOS/福岡東令和あけぼの/福岡南ファミリア/福岡中央エンジョイ/福岡東南けやき/対馬ちんぐ/久留米中央みらい/小郡七夕

寄付認証者紹介 (2月分)

ポール・ハリス・フェロー

大神 朋子 君	福岡東RC	Multiple
松本 篤 君	小倉RC	
吉田 知弘 君	福岡東RC	Multiple
浅野 秀樹 君	福岡東南RC	Multiple
村田 聡 君	大牟田北RC	
永野 勤十 君	甘木RC	Multiple
中原 俊喜 君	糸島RC	Multiple
安部 義則 君	直方RC	
金光 功 君	豊前RC	

米山功労者

表彰回数

保利 重勝 君	糸島RC	1
平尾 伊智郎 君	小倉南RC	1
貞方 寛 君	壱岐RC	1
中川 恵司 君	久留米中央RC	3
和田 博実 君	久留米中央RC	5
豊田 壽 君	久留米東RC	7

4月地区内行事予定表

3日(水)	福岡城南RC創立45周年記念式典
5日(金)	地区ラーニング委員会
6日(土)	2024学年度新規米山記念奨学生オリエンテーション 国際青少年交換学生オリエンテーション
7日(日)	第3回 ローターアクト 会長・幹事会
9日(火)	クラブ運営支援委員会
11日(木)	会員増強委員会
12日(金)	親睦ゴルフ大会
13日(土)	地区大会(～14日)
18日(木)	インターアクト委員会
20日(土)	行橋みやこRC創立40周年記念式典
27日(土)	飯塚RC創立55周年記念式典 大牟田北RC創立35周年記念式典 危機管理委員会
28日(日)	ローターアクト次期指導者研修会

第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/桑野智彰・宮本由希・井上誉之・梅原健・花田公一・川畑輝雅・橋本道成
連絡先/株 梓書院 ガバナー月信編集局
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3-2-1
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095
E-mail:mail@azusashoin.com

2月新会員ご紹介 (11RC 27名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
1	行橋みやこ	宮木 雄嗣
		白木 力三
2	小倉中央	村里 淳
	小倉南	伊東 良輔
		稲垣 弦
	園田 雄一	
3	直方	古城戸 秀和
4	福岡	廣瀬 元彦
		鈴江 健一
	福岡平成	竹林 讓
	福岡東	中原 大吾
5	福岡中央	原 志津子
	博多	重松 佳子
6	小郡	藤井 庸子
		片根 暢宏*
		木下 周*
		篠崎 隆宏*
		武田 孝弘*
		田籠 憲司*
		田籠 茂記*
		中村 竜博*
		馬場 良作*
		三宅 淳司*
森山 嘉統*		
山口 展功*		
山長 洋一*		
7	大牟田北	村田 聡



Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F
TEL.(092) 481-2650 FAX.(092) 481-2651
事務所長 E-mail : gocheef@2700rid.com
事務所 E-mail : ri2700go@2700rid.com
(執務時間) 平日/9:30~17:00 土曜日・日曜日・祝日/休務